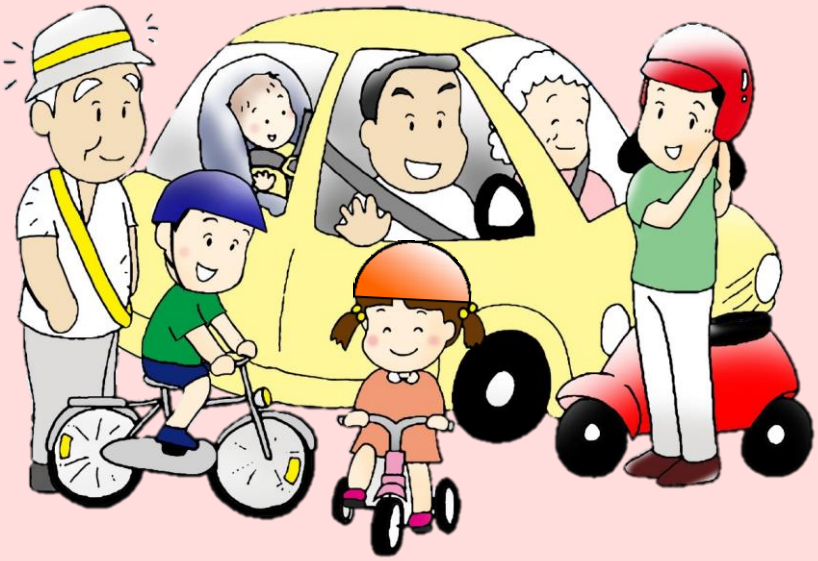
交通安全のために

～令和元年中の交通事故から～



毎月
11日

横断歩道 “ＳＯＳ” の日
さわやかな 横断で スマイル

横断歩道は歩行者優先！

三　重　県　警　察

はじめに

令和元年中における全国の交通事故死者数は3，215人（前年比マイナス317人）で、警察庁が保有する昭和23年以降の統計で最少となりました。また、三重県内においても、交通死亡事故発生件数は74件で、交通事故死者数は75人となり、三重県警察が設置された昭和29年以降過去最少となりました。

人身事故件数、負傷者数は連年、減少傾向にあるものの、交通事故死者に占める高齢者や交通弱者（歩行中・自転車乗用中）の割合、自動車乗車中の死者に占めるシートベルト非着用者の割合が高い水準にあるなど、依然として厳しい交通情勢にあります。

本資料は、三重県の厳しい交通情勢をご紹介することにより、皆様がそれぞれの立場で交通事故防止について考え、交通ルールを遵守することの大切さを再認識していただくための資料として作成したものです。一人でも多くの方が、思いやりとゆとりを持って、安全な交通行動を実践していただければ、交通事故は確実に減少します。

悲惨な交通事故を1件でも減少させるための一助として、本資料を効果的にご活用いただきますようお願い申し上げます。

令和２年３月

三　重　県　警　察

目　次

第１　都道府県別交通事故発生状況 …… 1

第２　交通情勢からみた三重県の位置 2

第３　三重県の交通事故発生状況 …… 3～16

1　交通事故発生状況 …… 3
2　過去10年の年別推移 …… 3
3　市町別 …… 4･5
4　月別 …… 6
5　曜日別 …… 6
6　時間別 …… 7
7　路線別 …… 7
8　地形･道路形状･道路線形別 …… 8
9　事故類型別 …… 9
10　第1当事者の年齢層別 …… 10
11　第1当事者の事故原因別 …… 11
12　第1当事者の職業別 …… 12
13　死傷者の年齢層別 …… 13
14　死傷者の状態別 …… 14
15　シートベルトの着用状況 …… 15
16　ヘルメットの着用状況 …… 16

第４　各種の交通事故 …… 17～25

1　子供の交通事故 …… 17
2　高校生の交通事故 …… 18
3　高齢者の交通事故
(1) 全体 …… 19
(2) 高齢運転者 …… 20
4　歩行者の交通事故 …… 21
5　自転車の交通事故 …… 22
6　二輪車の交通事故 …… 23
7　若年運転者の交通事故 …… 24
8　飲酒運転の交通事故 …… 25

● 用 語 の 意 味 ●

★ 交 通 事 故 …… 道路上において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡または負傷を伴うもの（人身事故）及び物損事故をいう。

★ 人 身 事 故 …… 人の死傷を伴う交通事故をいう。

★ 物 損 事 故 …… 物の損壊のみの交通事故をいう。

★ 死 亡 事 故 …… 人身事故のうち、人の死亡を伴う交通事故をいう。

★ 死　　者 …… 交通事故発生後24時間以内に死亡した者をいう。

★ 第１当事者 …… 交通事故に関与した人のうち、過失が最も重い者をいい、過失が同程度の場合は、被害が最も軽い者をいう。

★ 構　成　率 …… 全体(合計)に占める各項目の構成割合をいい、四捨五入してあるので合計と一致しないものもある。

★ 致　死　率 …… $\frac{\text{死者数}}{\text{全死傷者数}} \times 100$をいう。

★ 死 傷 者 率 …… 全死傷者数に占める各種の交通事故(子供・高校生の交通事故等)の死傷者数の構成割合をいう。

★ 事　故　率 …… 全事故に占める各種の交通事故(子供･高校生の交通事故等)の構成割合をいう。

★ 事 故 類 型 …… 事故をまず当事者の種類(人又は車両)によって類型化し、次いで当事者の事故時の行動等(動き、位置、衝突物等)によって更に細かく類型化したもの。

★ 状　態　別 …… 事故当事者の事故当時の状態(自動車運転中、自動車同乗中、歩行中等)をいう。

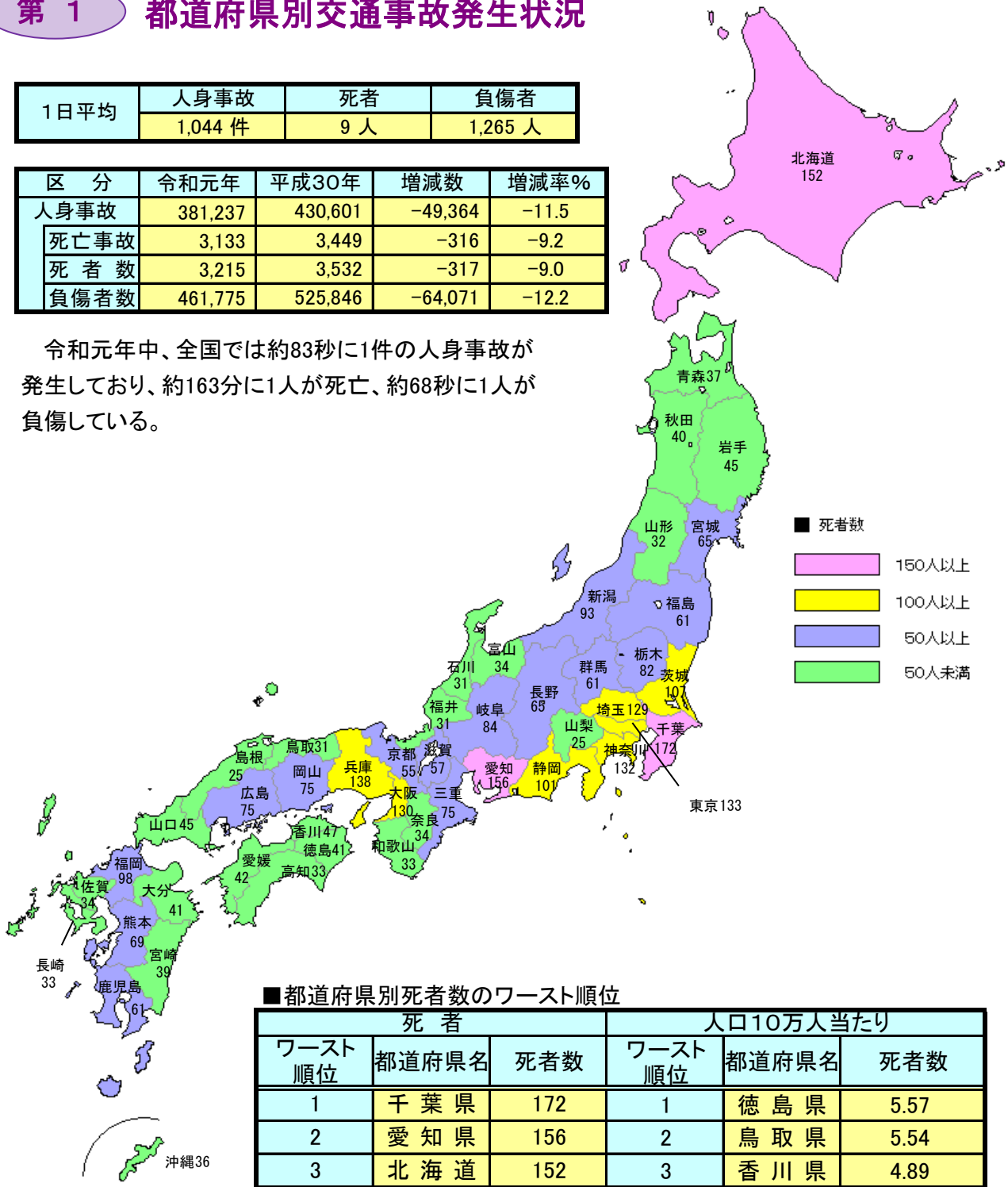
★ 車　両　等 …… 自動車、二輪車(原付車を含む)、自転車をいう。

第 1　都道府県別交通事故発生状況

1日平均	人身事故	死者	負傷者
	1,044 件	9 人	1,265 人

区　分	令和元年	平成30年	増減数	増減率%
人身事故	381,237	430,601	−49,364	−11.5
死亡事故	3,133	3,449	−316	−9.2
死　者　数	3,215	3,532	−317	−9.0
負傷者数	461,775	525,846	−64,071	−12.2

令和元年中、全国では約83秒に1件の人身事故が発生しており、約163分に1人が死亡、約68秒に1人が負傷している。



■都道府県別死者数のワースト順位

死　者			人口10万人当たり		
ワースト順位	都道府県名	死者数	ワースト順位	都道府県名	死者数
1	千 葉 県	172	1	徳 島 県	5.57
2	愛 知 県	156	2	鳥 取 県	5.54
3	北 海 道	152	3	香 川 県	4.89
4	兵 庫 県	138	4	高 知 県	4.67
5	東 京 都	133	5	栃 木 県	4.21
6	神奈川県	132	6	岐 阜 県	4.21
7	大 阪 府	130	7	三 重 県	4.19
8	埼 玉 県	129	8	佐 賀 県	4.15
9	茨 城 県	107	9	新 潟 県	4.14
10	静 岡 県	101	10	秋 田 県	4.08
15	三 重 県	75	7	三 重 県	4.19

※人口10万人当たりの死者数は、総務省資料「平成30年10月1日現在推計人口」を使用

第 2　交通情勢から見た三重県の位置

区分		三重県	順位	全国	備考（年月日）
人口（人）		1,791,000	22	126,443,000	平30.10.1
面積（㎢）		5,774.45	25	377,975.24	令元.10.1
道路実延長（km）		25,394.9	21	1,223,886.5	平29.4.1
免許	人口（人）	1,255,944	22	82,158,428	令元.12.31
	保有率（%）	70.13	10	64.98	
	県民1.43に1人の割合			国民1.54に1人の割合	
自動車	台数(原付・小特除く)（台）	1,527,136	21	82,122,890	令元.6.30
	保有率（%）（自動車1台当たり）	85.27（1.17人）	11	64.95（1.54人）	
原付	台数(1・2種)（台）	109,068	20	7,105,751	平30.7.1
	保有率（%）（原付車1台当たり）	6.09（16.42人）	20	5.62（17.79人）	
交通事故	人身事故件数	3,647	29	381,237	令元年中（ワースト順位）
	人口10万人当たり	203.63	38	301.51	
	死者数	75	15	3,215	
	人口10万人当たり	4.19	7	2.54	
	免許人口1万人当たり	0.60	8	0.39	
	自動車1万台当たり（原付含む）	0.45	9	0.35	
	道路1000km当たり	2.95	14	2.63	
	1億走行台キロ当たり	0.72	15	0.68	
	致死率	1.57	9	0.69	

備考

- 人口は、総務省資料の「平成30年10月1日現在推計人口」による。
- 面積は、国土地理院資料による。
- 道路実延長、自動車台数及び原付台数は、国土交通省資料による。
- 免許人口、交通事故（人身事故件数、死者数）及び1億走行台キロは、警察庁資料による。
- 人口10万人当たりの算出根拠は、総務省資料の「平成30年10月1日現在推計人口」である。
- 致死率は、死者数÷死傷者数×100をいう。

第 3　三重県の交通事故発生状況

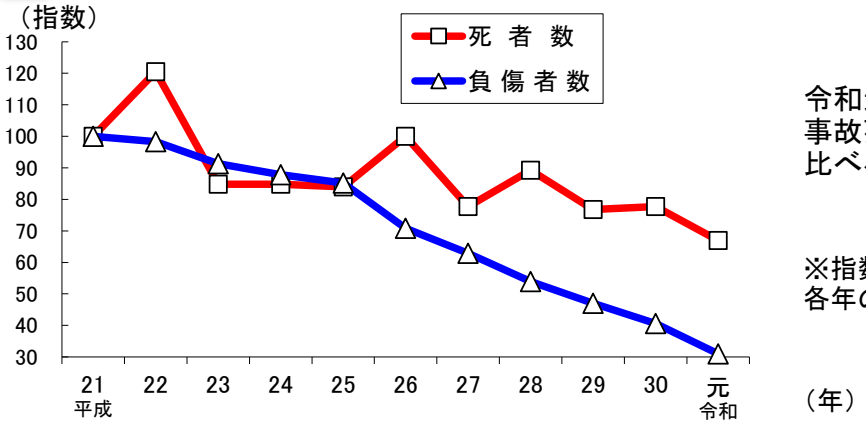
1 交通事故発生状況

区　分	人身事故	死者	負傷者
1 日 平 均	10 件	0.2 人	12.8 人

区分		令和元年	平成30年	増減数	増減率%
人 身 事 故		3,647	4,687	−1,040	−22.2
	死亡事故	74	82	−8	−9.8
	死 者 数	75	87	−12	−13.8
	負傷者数	4,688	6,136	−1,448	−23.6
物 損 事 故		53,809	55,885	−2,076	−3.7

令和元年中、三重県では、約144分に1件の人身事故が発生しており、約5日に1人が死亡、約112分に1人が負傷している。

2 過去10年の年別推移



令和元年中の三重県内における交通事故死者数は、10年前の平成21年と比べると約30%減少した。

※指数は、平成21年を100とした場合の各年の値である。

項目 / 年	人身事故 発生件数	指数	死者数	指数	負傷者数	指数	物損事故	指数
平成 21 年	11,372	100	112	100	15,126	100	49,027	100
22 年	11,275	99	135	121	14,878	98	51,730	106
23 年	10,420	92	95	85	13,813	91	52,016	106
24 年	10,155	89	95	85	13,287	88	53,487	109
25 年	9,804	86	94	84	12,885	85	54,902	112
26 年	8,100	71	112	100	10,717	71	54,342	111
27 年	7,169	63	87	78	9,517	63	54,505	111
28 年	6,038	53	100	89	8,158	54	54,994	112
29 年	5,441	48	86	77	7,113	47	56,464	115
30 年	4,687	41	87	78	6,136	41	55,885	114
令和 元 年	3,647	32	75	67	4,688	31	53,809	110
平成22～令和元年平均	7,674	—	97	—	10,119	—	54,213	—

■三重県警察が設置された昭和29年以降における死者の最高を記録した年の発生状況

昭和46年	9,495	—	352	—	13,243	—	10,293	—

■三重県警察が設置された昭和29年以降における死者の最低を記録した年の発生状況

令和元年	3,647	—	75	—	4,688	—	53,809	—

3 市町別

人口10万人以上の6市(桑名市・四日市市・鈴鹿市・津市・松阪市・伊勢市)で、人身事故の約73%(2,665件)が発生している。

●最多・・・・・四日市市　　730件（20.0%）

●最少・・・・・大紀町　　6件（ 0.2%）

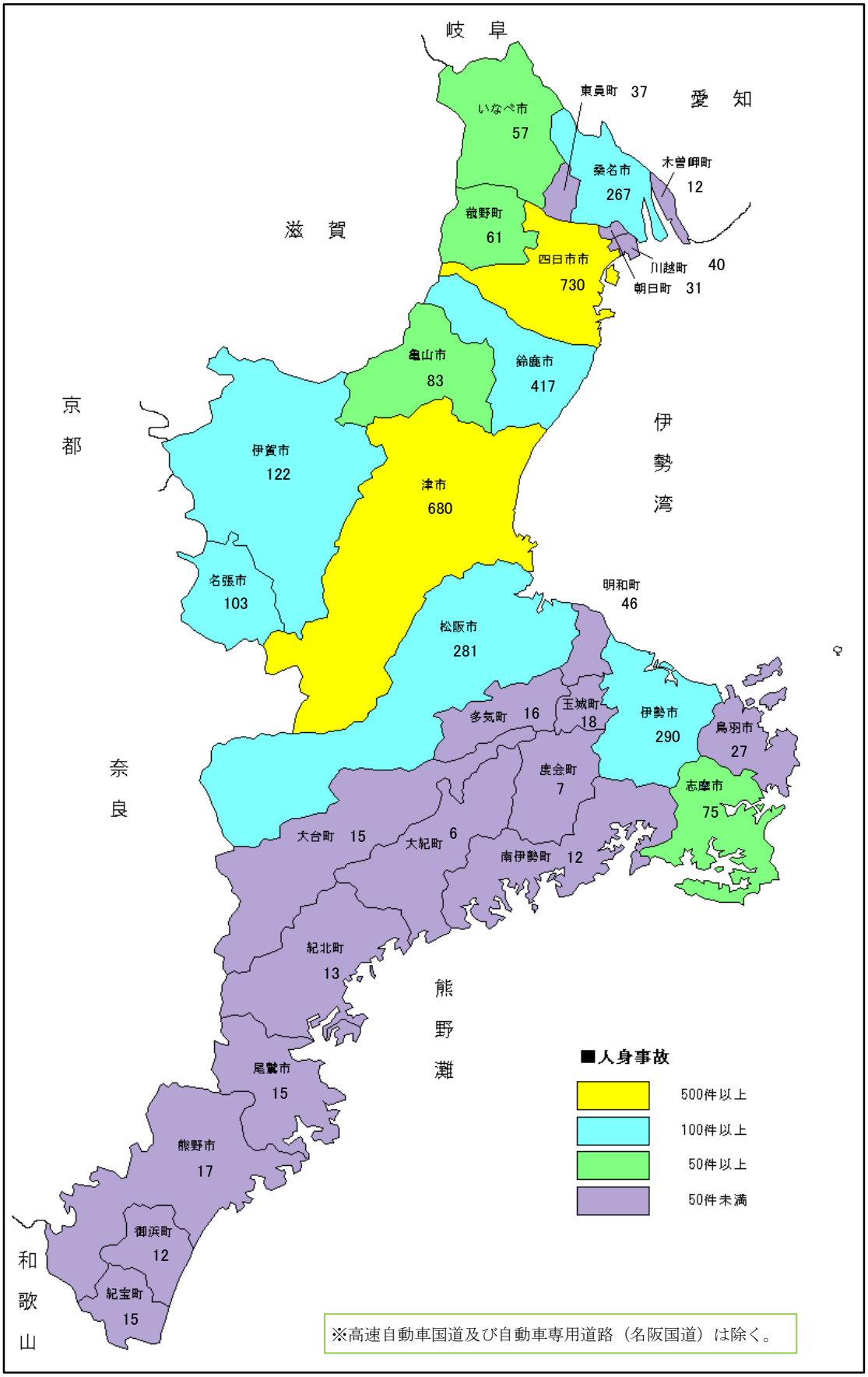
※高速隊分を除く。

署	市町	人身事故		
		件数	死者	負傷者
桑名	桑名市	267	6	347
	木曽岬町	12	0	17
いなべ	いなべ市	57	2	70
	東員町	37	1	47
四日市北	四日市市	193	0	228
	朝日町	31	0	37
	川越町	40	0	51
四日市南	四日市市	502	5	625
四日市西	四日市市	35	0	38
	菰野町	61	2	81
（四日市市計）		730	5	891
亀山	亀山市	83	4	103
鈴鹿	鈴鹿市	417	5	535
津	津市	451	7	588
津南	津市	229	2	290
（津市計）		680	9	878
松阪	松阪市	281	15	319
	多気町	16	0	23
	明和町	46	2	47

署	市町	人身事故		
		件数	死者	負傷者
大台	大台町	15	1	17
	大紀町	6	2	6
伊勢	伊勢市	290	6	383
	玉城町	18	0	28
	度会町	7	0	7
	南伊勢町	12	0	17
鳥羽	鳥羽市	27	0	41
	志摩市	75	1	98
尾鷲	尾鷲市	15	0	16
	紀北町	13	0	15
熊野	熊野市	17	2	27
紀宝	熊野市	0	0	0
	御浜町	12	1	21
	紀宝町	15	1	16
（熊野市計）		17	2	27
伊賀	伊賀市	116	4	152
名張	名張市	103	1	133
	伊賀市	6	0	8
（伊賀市計）		122	4	160

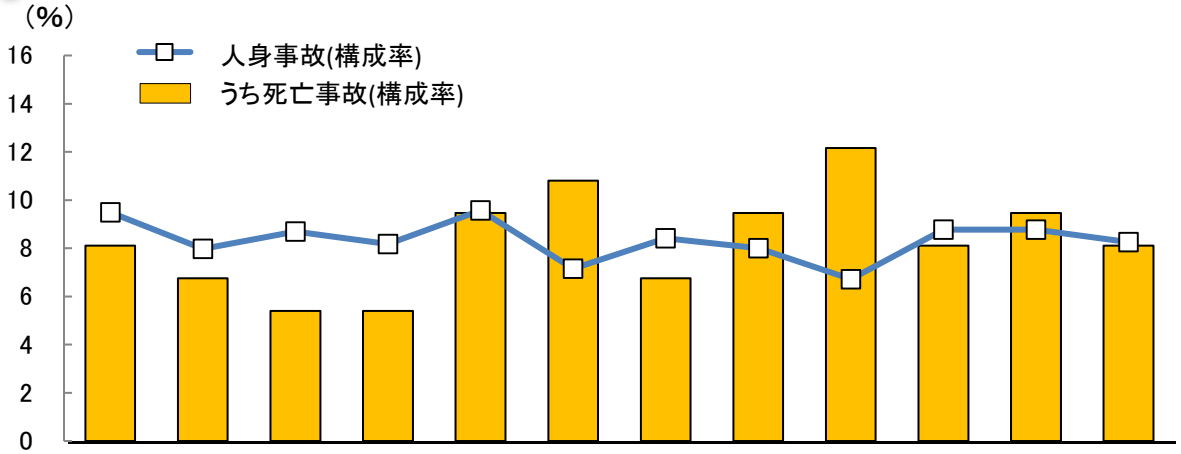
高速隊	142	5	257

合計	3,647	75	4,688



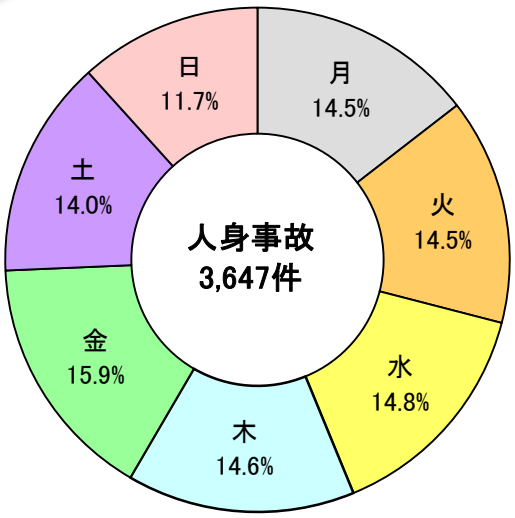
※高速自動車国道及び自動車専用道路（名阪国道）は除く。

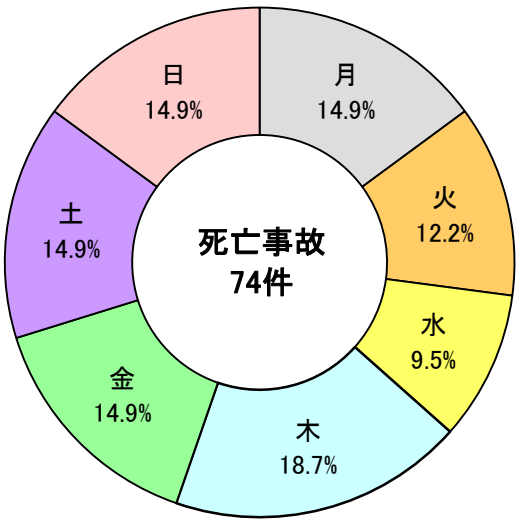
4 月別



項目＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
人身事故(件)		346	291	317	298	349	261	307	292	245	320	320	301	3,647
	構 成 率	9.5	8.0	8.7	8.2	9.6	7.2	8.4	8.0	6.7	8.8	8.8	8.3	100.0
うち死亡事故(件)		6	5	4	4	7	8	5	7	9	6	7	6	74
	構 成 率	8.1	6.8	5.4	5.4	9.5	10.8	6.8	9.5	12.2	8.1	9.5	8.1	100.0

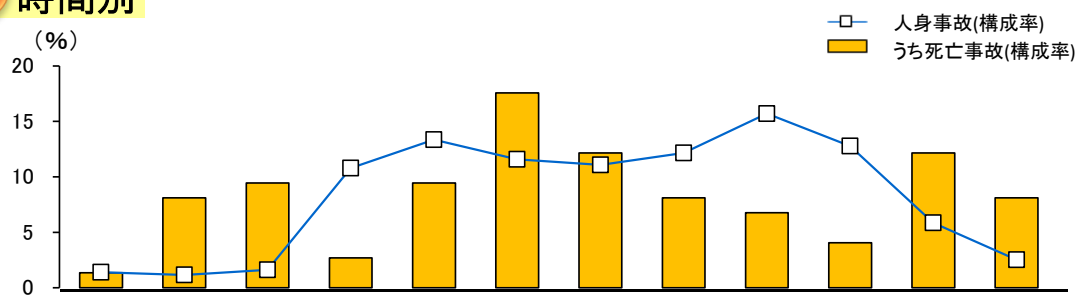
5 曜日別





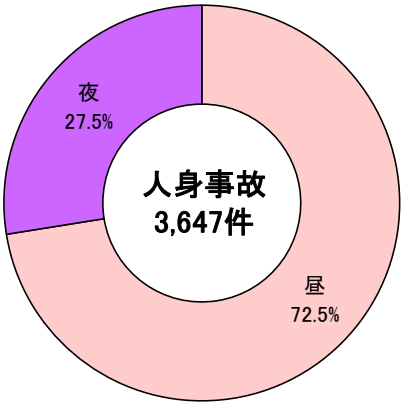
項目＼曜日		月	火	水	木	金	土	日	合計
人身事故(件)		530	530	539	534	581	511	422	3,647
	構成率	14.5	14.5	14.8	14.6	15.9	14.0	11.7	100.0
うち死亡事故(件)		11	9	7	14	11	11	11	74
	構成率	14.9	12.2	9.5	18.7	14.9	14.9	14.9	100.0

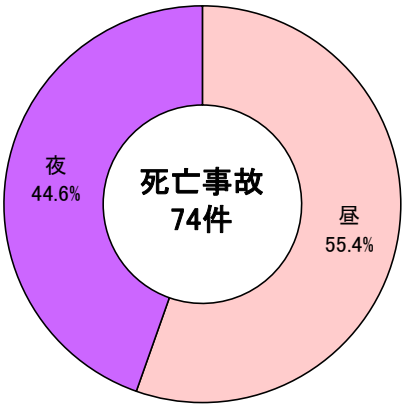
6 時間別



項目＼時間	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
人身事故(件)	51	42	59	394	487	422	404	443	573	466	214	92	3,647
構成率	1.4	1.2	1.6	10.8	13.4	11.6	11.1	12.1	15.7	12.8	5.9	2.5	100.0
うち死亡事故(件)	1	6	7	2	7	13	9	6	5	3	9	6	74
構成率	1.4	8.1	9.5	2.7	9.5	17.6	12.2	8.1	6.8	4.1	12.2	8.1	100.0

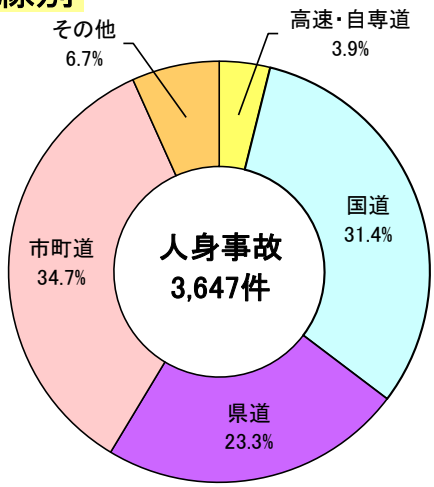
☆昼夜別

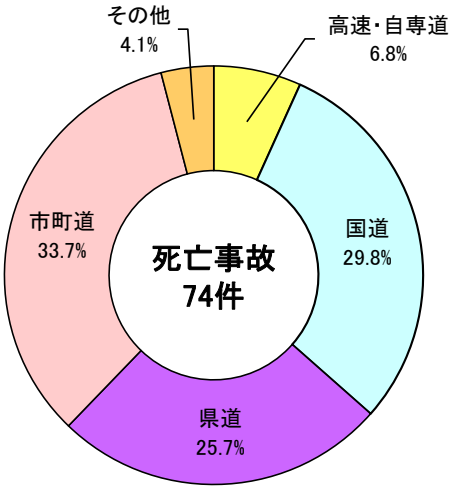




※昼は日の出から日没までをいう。

7 路線別

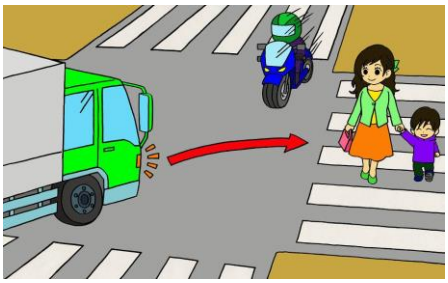




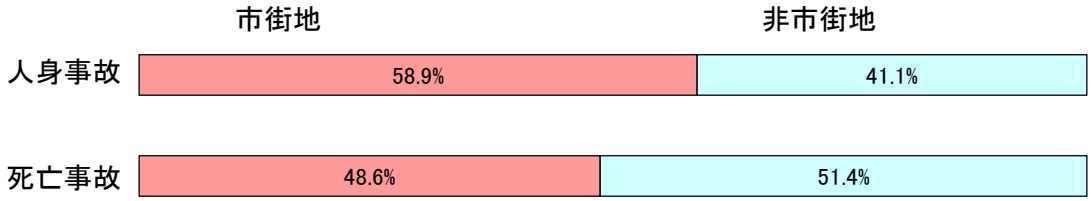
項目＼路線	高速	自専道			国道					県道			市道	町道	その他	合計
		名阪国道	東海環状	小計	1号	23号	42号	他	小計	主要	一般	小計				
人身事故(件)	121	20	1	21	157	487	111	391	1,146	460	390	850	1,175	89	245	3,647
構成率	3.3	0.5	0.0	0.6	4.3	13.4	3.0	10.7	31.4	12.6	10.7	23.3	32.2	2.4	6.7	100.0
うち死亡事故(件)	3	2	0	2	1	7	4	10	22	10	9	19	21	4	3	74
構成率	4.1	2.7	0.0	2.7	1.4	9.5	5.4	13.5	29.7	13.5	12.2	25.7	28.3	5.4	4.1	100.0

8 地形・道路形状・道路線形別

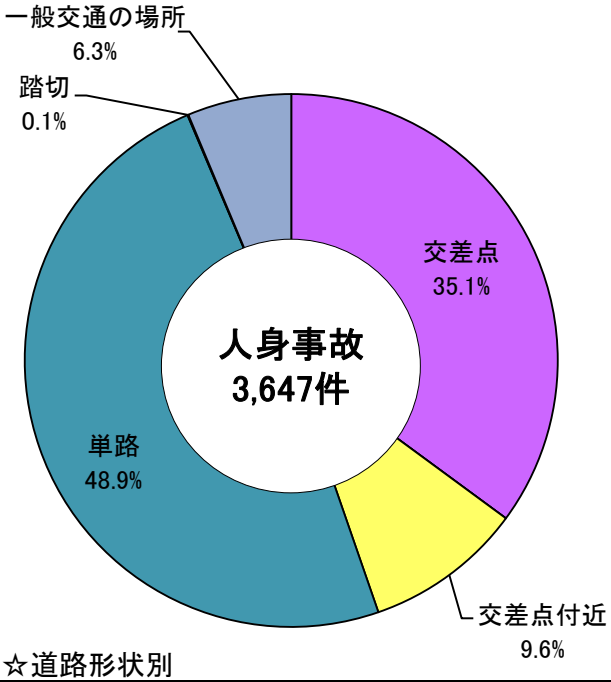
人身事故は市街地、死亡事故は非市街地で多く発生している。人身事故の約45%、死亡事故の約49%は交差点や交差点付近で発生している。

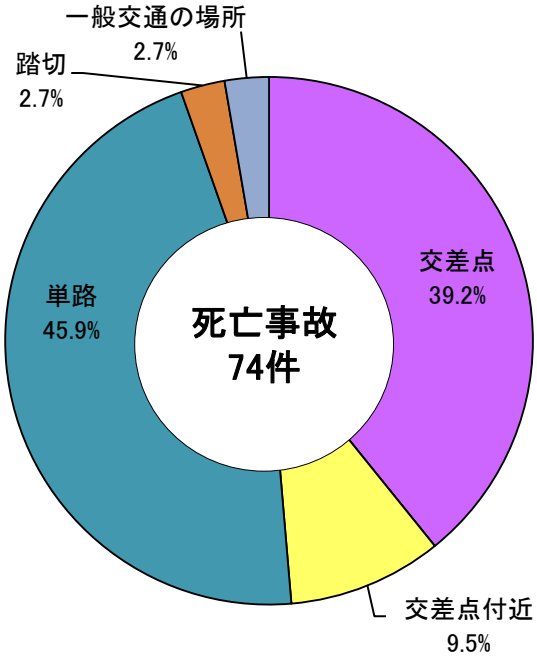


●交差点では、信号や一時停止規制を守り、左右の安全を確認しましょう。特に、歩行者や自転車の横断に注意しましょう。



※市街地とは、建造物が連立し、またはこれらが混在しており、市街地的形態をなしている地域をいう。





☆道路形状別

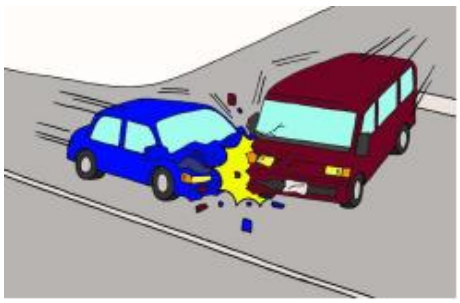
区　分	環状交差点	交差点	環状交差点付近	交差点付近	単路	踏切	一般交通の場所	合計
人身事故(件)	0	1,279	0	350	1,786	2	230	3,647
構成率	0.0	35.1	0.0	9.6	48.9	0.1	6.3	100.0
うち死亡事故(件)	0	29	0	7	34	2	2	74
構成率	0.0	39.2	0.0	9.5	45.9	2.7	2.7	100.0

☆道路線形別

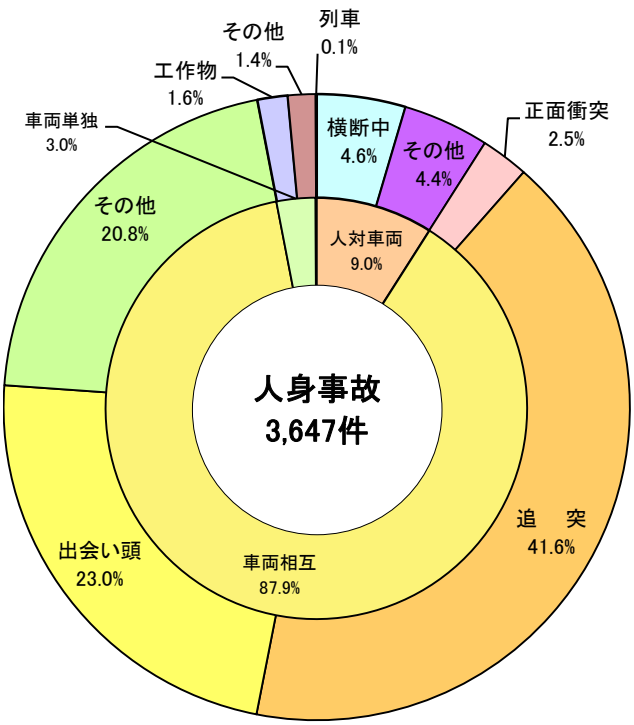
区　分	カーブ・右	カーブ・左	直線	その他	合計
人身事故(件)	75	69	3,273	230	3,647
構成率	2.1	1.9	89.7	6.3	100.0
うち死亡事故(件)	3	4	65	2	74
構成率	4.1	5.4	87.8	2.7	100.0

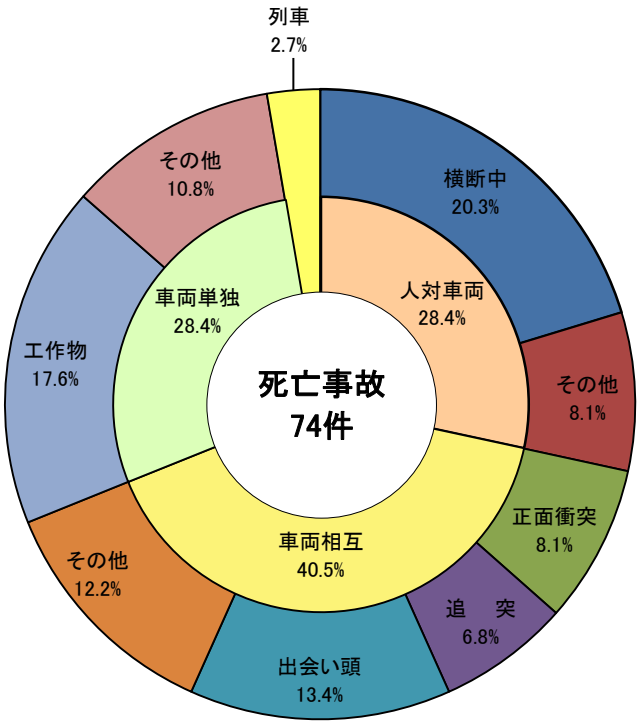
9 事故類型別

人身事故は、車両相互による追突事故が約42%を占める。
死亡事故は、人対車両の歩行者の横断中の事故や、車両単独による工作物への衝突事故が多い。



●追突事故は、緊張感欠如がもたらす最たる事故です。緊張感を持って、前方をよく見て、安全な速度で運転しましょう。
携帯電話等のながら運転は危険です。



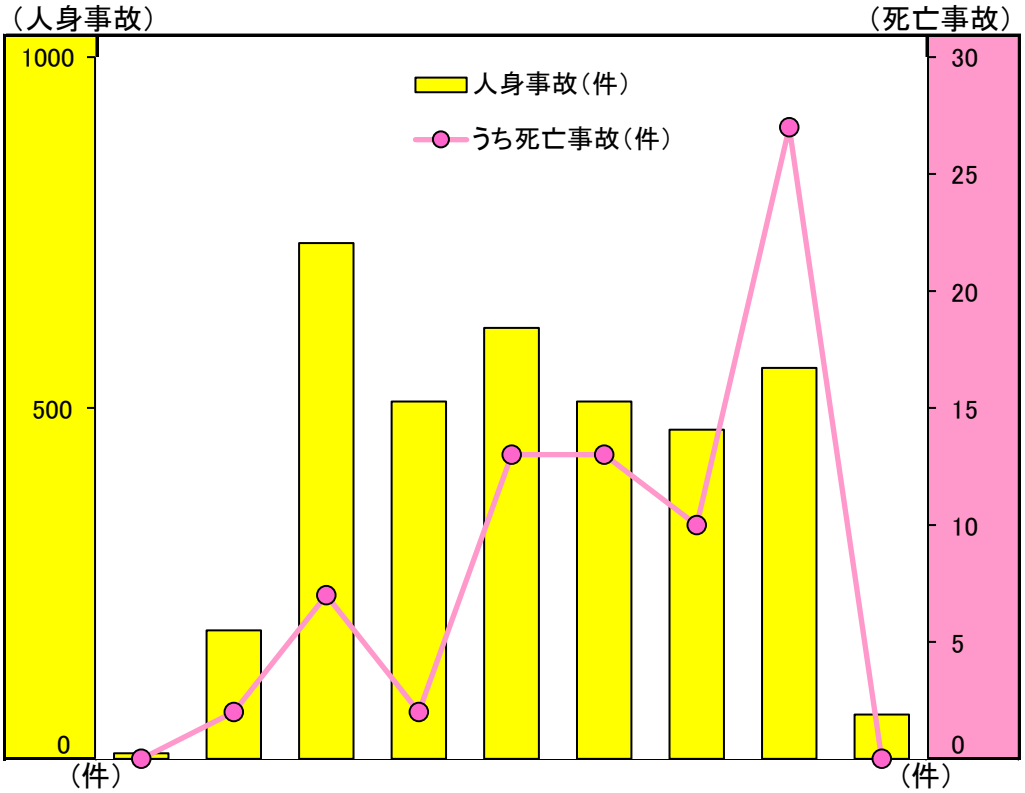


区　分	人対車両					車両相互					車両単独				列	合
	対・背面通行	横断中 横断歩道	横断中 その他	その他	小計	正面衝突	追突	出会い頭	その他	小計	工作物	路外逸脱	その他	小計	車	計
人身事故(件)	64	93	74	98	329	90	1,517	840	760	3,207	57	9	43	109	2	3,647
構成率	1.7	2.6	2.0	2.7	9.0	2.5	41.6	23.0	20.8	87.9	1.6	0.2	1.2	3.0	0.1	100.0
うち死亡事故(件)	1	5	10	5	21	6	5	10	9	30	13	4	4	21	2	74
構成率	1.3	6.8	13.5	6.8	28.4	8.1	6.8	13.4	12.2	40.5	17.6	5.4	5.4	28.4	2.7	100.0

10 第1当事者の年齢層別

人身事故は20～29歳、死亡事故は70歳以上が最も多い。
第1当事者が高齢者である死亡事故が、全死亡事故の約46%を占めている。

●道路を利用する全ての人が交通ルールを守り、お互いに注意して、交通事故を起こさないようにしましょう。

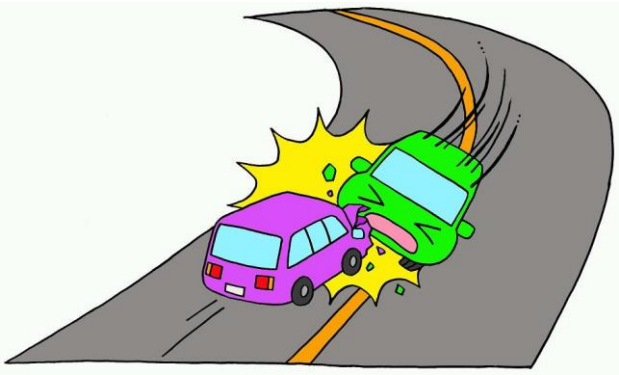


区分	10歳未満	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明	合計	再掲 子供（中学生以下）	再掲 高校生	再掲 若年者（16～24歳）（高校生含む）	再掲 高齢者（65歳以上）
人身事故（件）	8	183	735	509	614	509	469	557	63	3,647	31	17	586	816
構成率%	0.2	5.0	20.2	14.0	16.8	14.0	12.9	15.3	1.6	100.0	0.9	0.5	16.1	22.4
うち死亡事故（件）	0	2	7	2	13	13	10	27	0	74	1	0	2	34
構成率%	0.0	2.7	9.5	2.7	17.6	17.6	13.5	36.4	0.0	100.0	1.4	0.0	2.7	45.9

11 第1当事者の事故原因別

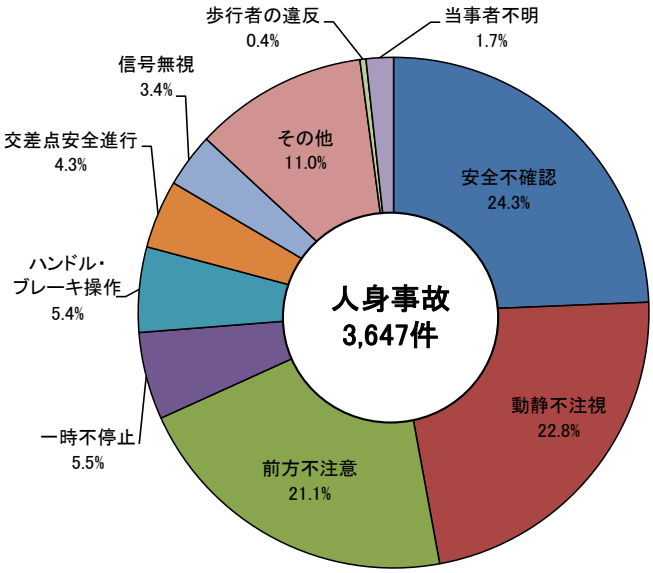
人身事故は、安全不確認、動静不注視、前方不注意による事故が全人身事故の約68%を占めている。

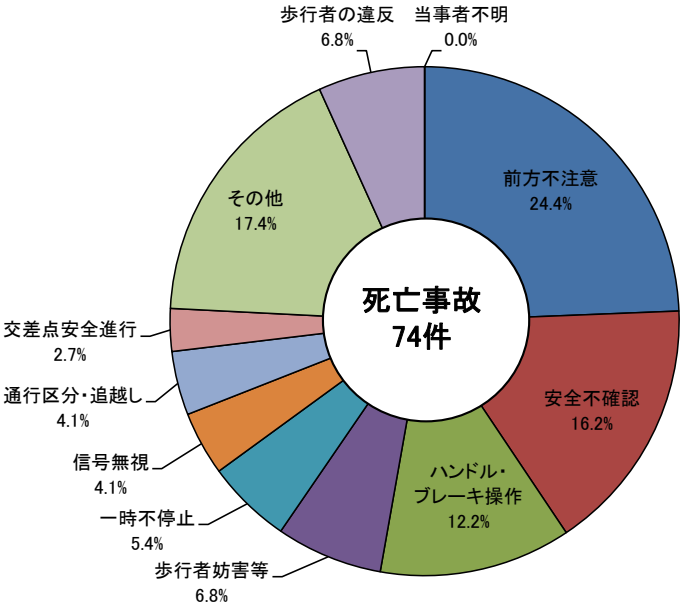
死亡事故は、前方不注意、安全不確認による事故が全死亡事故の約41%を占めている。



●運転中は、脇見や携帯電話等のながら運転をせず、運転に集中し、常に進路前方や周囲の状況を確認しましょう。

●自転車や歩行者は、車の動きに注意し、無理な横断などは絶対にやめましょう。





区分	車両等の違反																			歩行者の違反	当事者不明	合計	うち無免許
	信号無視	通行区分・追越し	最高速度	歩行者妨害等	横断自転車妨害等	一時不停止	酒酔い	右・左折	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行場所	安全運転義務					その他	調査不能	小計				
												ハンドル・ブレーキ操作	前方不注意	動静不注視	安全不確認	その他							
人身事故(件)	125	20	3	82	35	202	3	8	28	158	31	197	771	831	889	152	26	9	3,570	14	63	3,647	35
構成率	3.4	0.5	0.1	2.2	1.0	5.5	0.1	0.2	0.8	4.3	0.9	5.4	21.1	22.8	24.4	4.2	0.7	0.2	97.9	0.4	1.7	100.0	1.0
うち死亡事故(件)	3	3	1	5	0	4	0	0	0	2	0	9	18	1	12	5	2	4	69	5	0	74	0
構成率	4.1	4.1	1.4	6.8	0.0	5.4	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	12.2	24.3	1.4	16.2	6.8	2.7	5.4	93.2	6.8	0.0	100.0	0.0

注　うち無免許とは、第1当事者が原付以上であった人身事故又は死亡事故のうち、当該第1当事者が無免許であった事故をいう。

歩行者の違反・・・信号無視、飛出し等

12 第1当事者の職業別

サービス業従事者が第１当事者となる事故が、人身事故の約43%を占めている。

●家庭や職場などで交通ルールを守ることの大切さを話し合いましょう。

職業別	人身事故（件）	死亡事故（件）
子供	31	1
高校生	17	0
大学生	47	0
その他学生	33	0
職業運転者	184	7
公務員	103	3
農林業	28	4
漁業	13	0
鉱業	1	0
建設業	155	5
製造業	219	3
卸・小売業	75	0
金融保険業	26	0
不動産業	5	0
運輸・郵便業	31	1
通信業	1	0
電気・ガス・熱・水道業	35	2
学術研究	0	0
宿泊・飲食業	59	1
生活関連サービス	49	0
教育・学習支援業	44	0
医療・福祉	168	0
複合サービス業	10	0
その他サービス業	1,571	25
分類不能の産業	5	0
主婦	157	4
無職	508	17
外国人	2	1
その他	70	0
合計	3,647	74

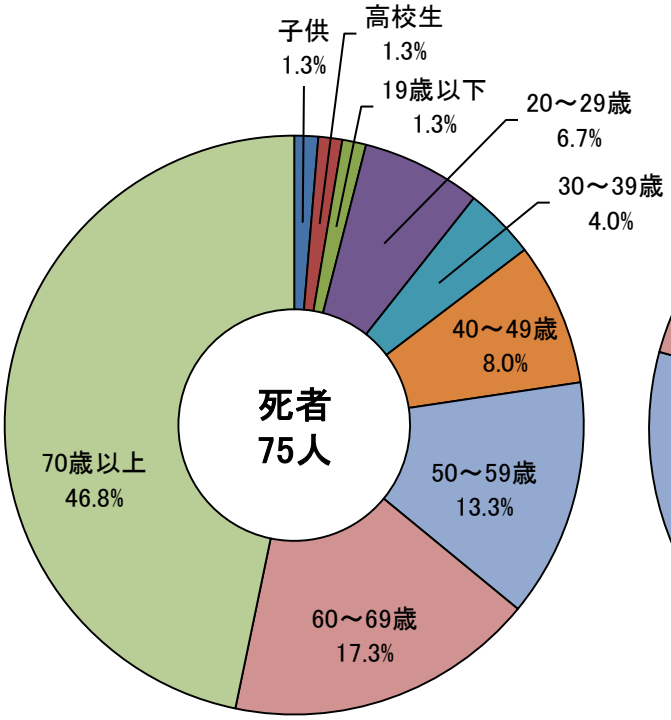
区分	子供	高校生	大学生	その他学生	職業運転者	公務員	農林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	卸・小売業	金融保険業	不動産業	運輸・郵便業
人身事故（件）	31	17	47	33	184	103	28	13	1	155	219	75	26	5	31
構成率	0.9	0.5	1.3	0.9	5.0	2.8	0.8	0.4	0.0	4.3	6.0	2.1	0.7	0.1	0.9
うち死亡事故（件）	1	0	0	0	7	3	4	0	0	5	3	0	0	0	1
構成率	1.4	0.0	0.0	0.0	9.4	4.1	5.4	0.0	0.0	6.7	4.1	0.0	0.0	0.0	1.4

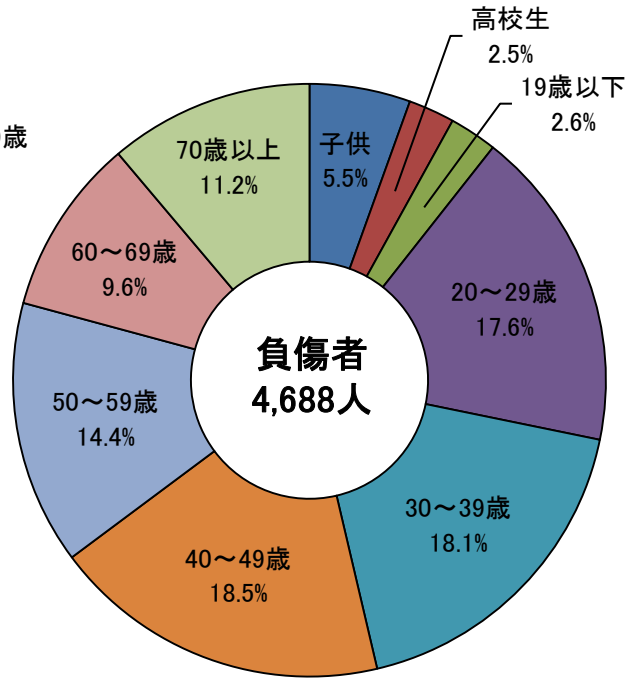
区分	通信業	電気・ガス・熱・水道業	学術研究	宿泊・飲食業	生活関連サービス	教育・学習支援業	医療・福祉	複合サービス業	その他サービス業	分類不能の産業	主婦	無職	外国人	その他	合計
人身事故（件）	1	35	0	59	49	44	168	10	1,571	5	157	508	2	70	3,647
構成率	0.0	1.0	0.0	1.6	1.3	1.2	4.6	0.3	43.1	0.1	4.3	13.9	0.1	1.8	100.0
うち死亡事故（件）	0	2	0	1	0	0	0	0	25	0	4	17	1	0	74
構成率	0.0	2.7	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	33.7	0.0	5.4	22.9	1.4	0.0	100.0

13 死傷者の年齢層別

65歳以上の高齢者の死者が、全死者の56%を占めている。

●体力が落ちた、物が見にくくなったと感じることはありませんか？
●思いやりの気持ちを持って、ゆとりのある運転に努めましょう。





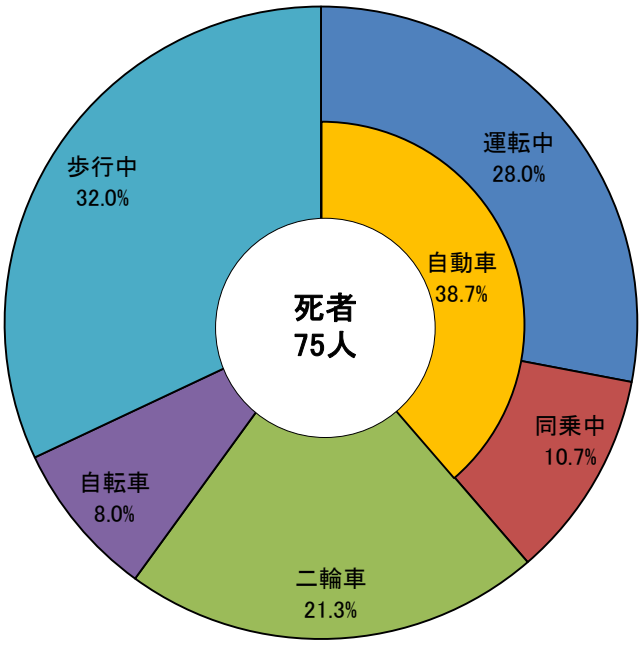
区分	子供	高校生	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計	再掲 若年者（16～24歳）	再掲 高齢者（65歳以上）
死者数	1	1	1	5	3	6	10	13	35	75	3	42
構成率	1.3	1.3	1.3	6.7	4.0	8.0	13.3	17.3	46.8	100.0	4.0	56.0
負傷者数	258	118	122	825	849	866	675	452	523	4,688	604	755
構成率	5.5	2.5	2.6	17.6	18.1	18.5	14.4	9.6	11.2	100.0	12.9	16.1

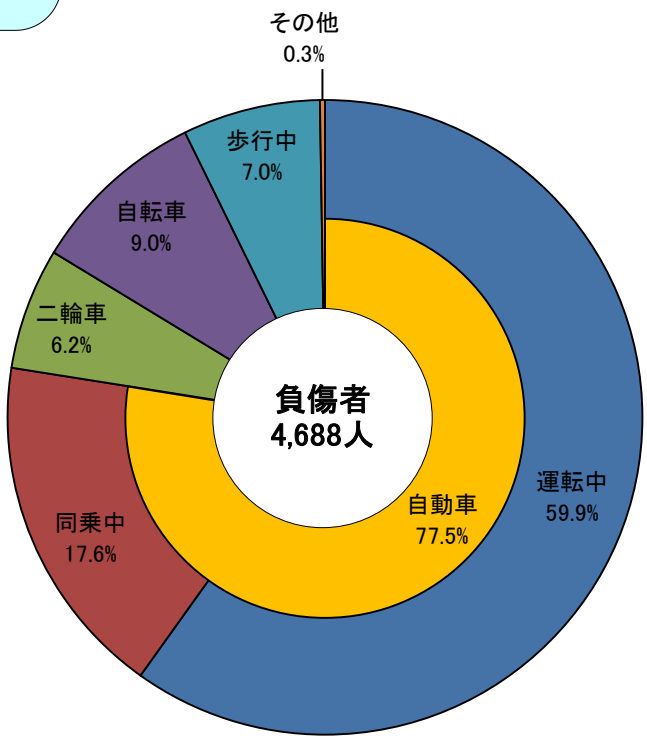
※子供は、中学生以下をいい、年齢区分は、子供と高校生を除いた人数をいう。

14 死傷者の状態別

自動車乗車中の負傷者が3,636人（約78%）で最も多い。
自転車乗用中、歩行中の死者が全死者の40%を占めている。

●道路を横断するときは、止まって左右の安全を確認してから横断しましょう。
●近くに横断歩道があるときは、横断歩道を渡りましょう。





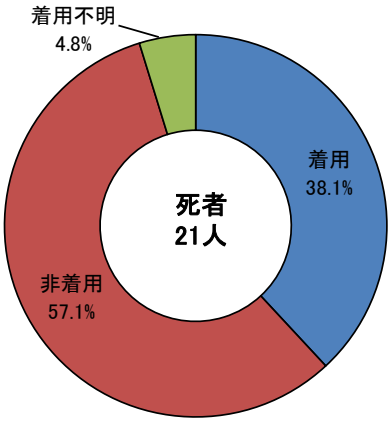
区分	運転中				同乗中				歩行中	その他	合計
	自動車	二輪車	自転車	小計	自動車	二輪車	自転車	小計			
死者数	21	15	6	42	8	1	0	9	24	0	75
構成率	28.0	20.0	8.0	56.0	10.7	1.3	0.0	12.0	32.0	0.0	100.0
負傷者数	2,809	279	424	3,512	827	8	0	835	329	12	4,688
構成率	59.9	6.0	9.0	74.9	17.6	0.2	0.0	17.8	7.0	0.3	100.0

15 シートベルトの着用状況

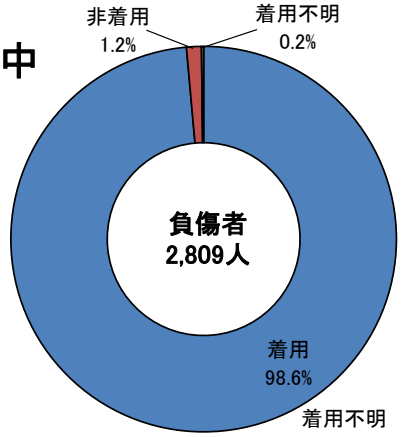
死者の着用率は約38%であり、負傷者の着用率の約97%と比べ低い。

●シートベルト非着用死者17人中12人（70．6%）が、シートベルトを着用していれば助かったと推定されます。
●後部座席を含め、自動車に乗車するときは全ての座席でシートベルトを確実に着用しましょう。

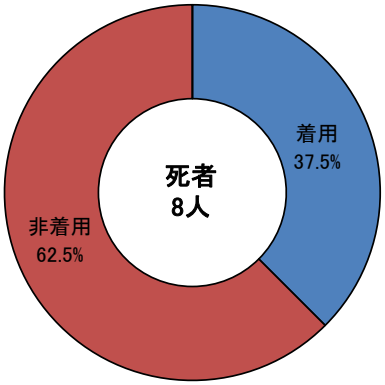
運転中



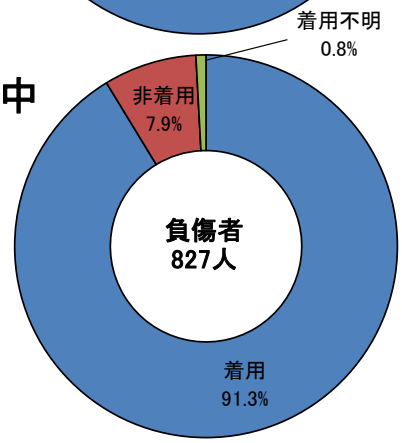
運転中



同乗中



同乗中



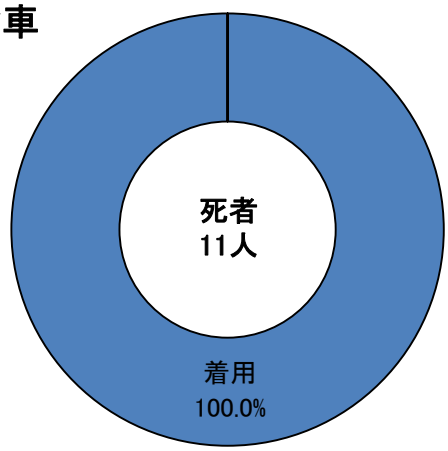
区分		自動車														特殊車		合計		
		大型車		中型車		準中型		普通車		軽自動車		ミニカー		小計						
		運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	計
死者数	着用	0	0	1	0	0	0	3	3	4	0	0	0	8	3	0	0	8	3	11
	着用率%	－	－	100.0	－	0.0	－	42.9	50.0	40.0	0.0	－	－	40.0	37.5	0.0	－	38.1	37.5	37.9
	非着用	0	0	0	0	2	0	4	3	5	2	0	0	11	5	1	0	12	5	17
	着用不明	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
	計	0	0	1	0	2	0	7	6	10	2	0	0	20	8	1	0	21	8	29
負傷者数	着用	24	11	24	1	26	6	1,462	467	1,232	270	0	0	2,768	755	1	0	2,769	755	3,524
	着用率%	100.0	78.6	100.0	11.1	96.3	66.7	99.0	93.4	98.2	91.5	－	－	98.6	91.3	50.0	－	98.6	91.3	96.9
	非着用	0	3	0	8	1	3	13	28	20	23	0	0	34	65	1	0	35	65	100
	着用不明	0	0	0	0	0	0	2	5	3	2	0	0	5	7	0	0	5	7	12
	計	24	14	24	9	27	9	1,477	500	1,255	295	0	0	2,807	827	2	0	2,809	827	3,636

16 ヘルメットの着用状況(自動二輪車・原付自転車)

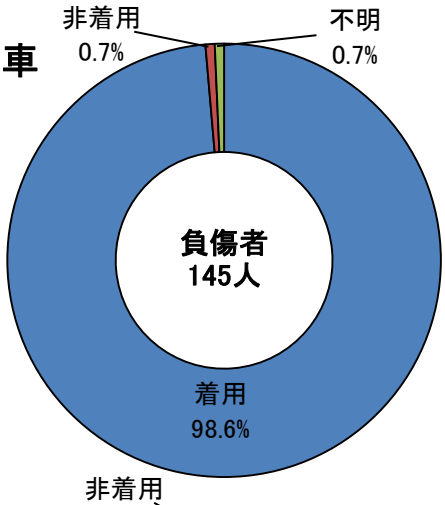
死傷者の約2%がヘルメットを着用していない。

●ヘルメットは、あなたの命を守ります。
正しく着用しましょう。

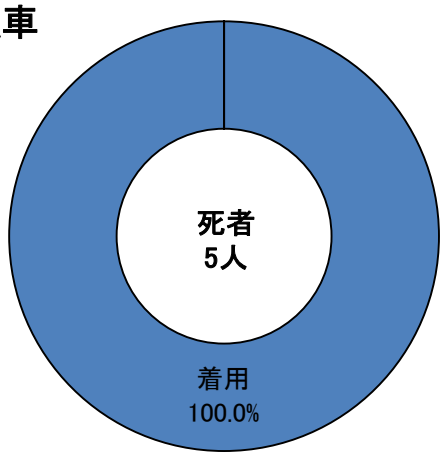
自動二輪車



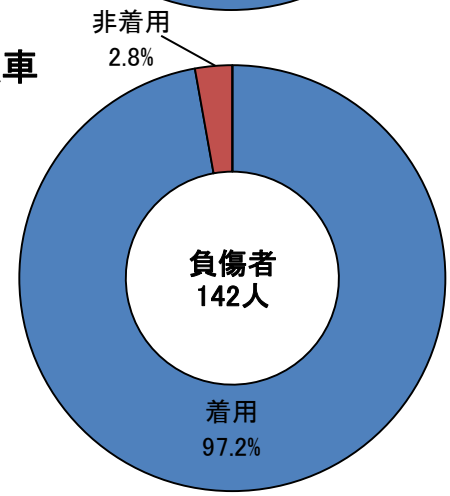
自動二輪車



原付自転車
(50cc)



原付自転車
(50cc)



区分		自動二輪												原付自転車		合計		
		小型二輪						軽二輪		原付二種		小計						
		751cc以上		401～750cc		251～400cc		126～250cc		51～125cc								
		運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	計
死者数	着用	3	0	1	0	1	1	2	0	3	0	10	1	5	0	15	1	16
	着用率%	100.0	－	100.0	－	100.0	100.0	100.0	－	100.0	－	100.0	100.0	100.0	－	100.0	100.0	100.0
	非着用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	着用不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3	0	1	0	1	1	2	0	3	0	10	1	5	0	15	1	16
負傷者数	着用	24	2	11	1	17	1	37	1	48	1	137	6	138	0	275	6	281
	着用率%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	97.4	50.0	100.0	100.0	99.3	85.7	97.9	0.0	98.6	75.0	97.9
	非着用	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	1	3	2	5
	着用不明	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
	計	24	2	11	1	17	1	38	2	48	1	138	7	141	1	279	8	287

第 4　各種の交通事故

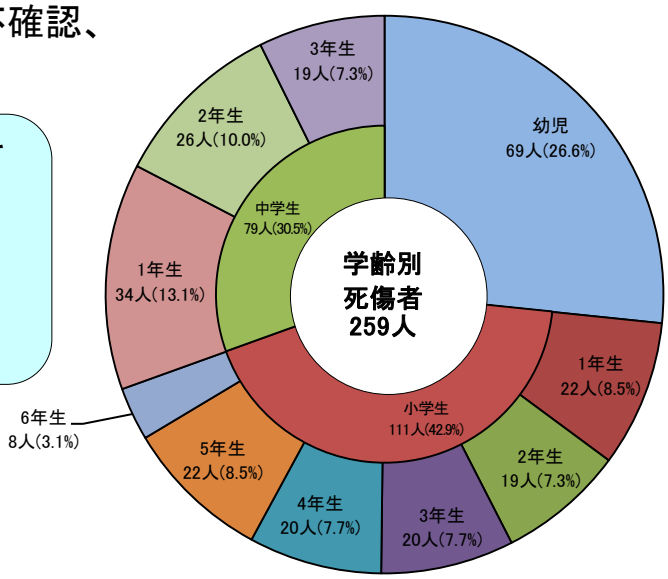
1 子供の交通事故

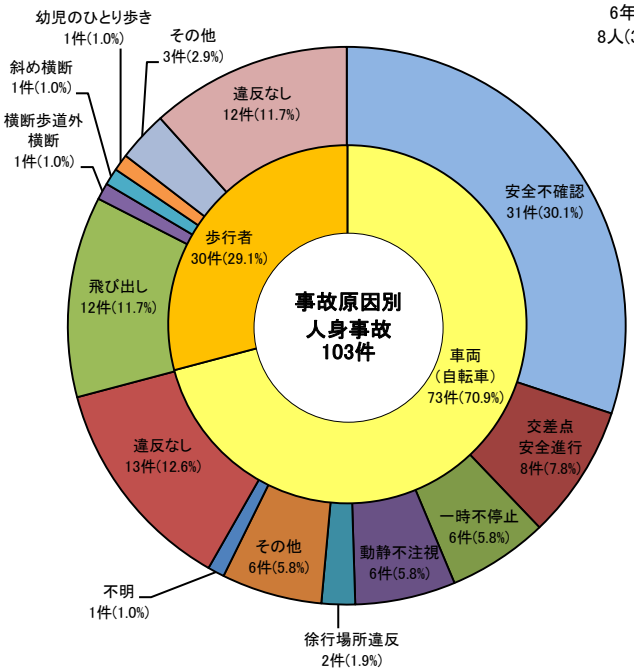
（幼児、小・中学生が関与した事故）

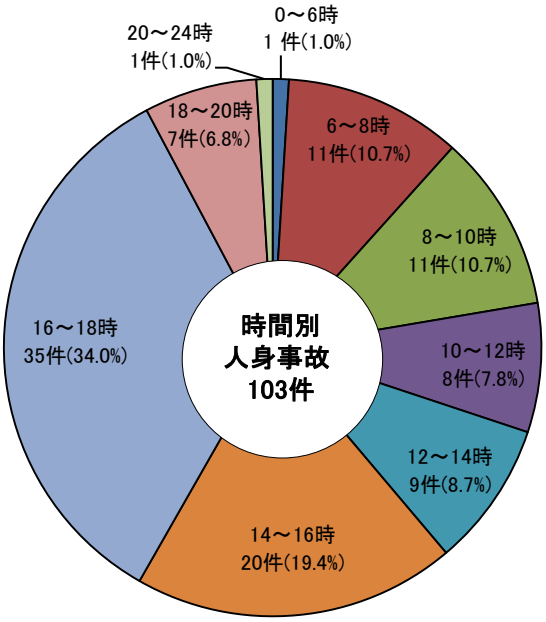
小学生の死傷者が子供の死傷者の約43%を占めている。

事故原因別では、自転車は安全不確認、歩行者は飛び出しが最も多い。

●道路を横断するときは、止まって左右の安全を確認してから横断しましょう。
●大人が手本となって交通ルールを教えましょう。







※子供同士の事故はなし
※死者の内訳は、自転車乗用中の小学生1人

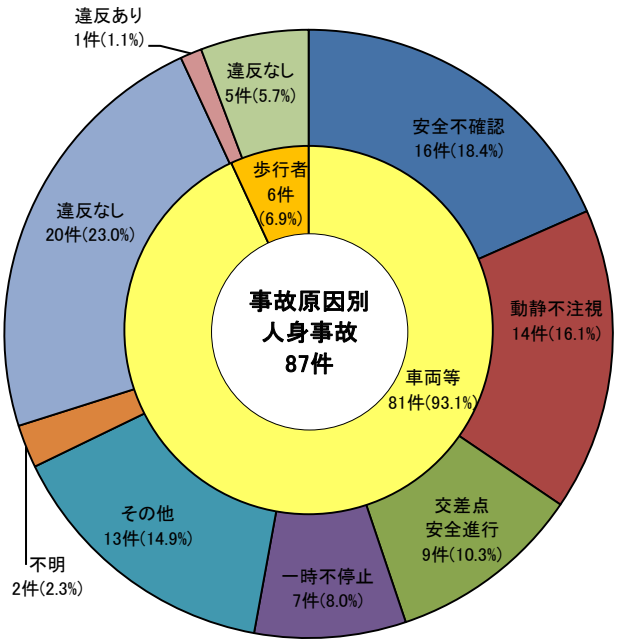
区　分	平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
人身事故(件)	432	369	365	354	273	215	181	177	128	103
死 者 数	3	2	3	2	3	1	2	2	0	1
負傷者数	997	859	870	834	661	599	588	459	340	258
死 傷 者 率	6.7	6.2	6.5	6.4	6.1	6.2	7.1	6.4	5.5	5.4

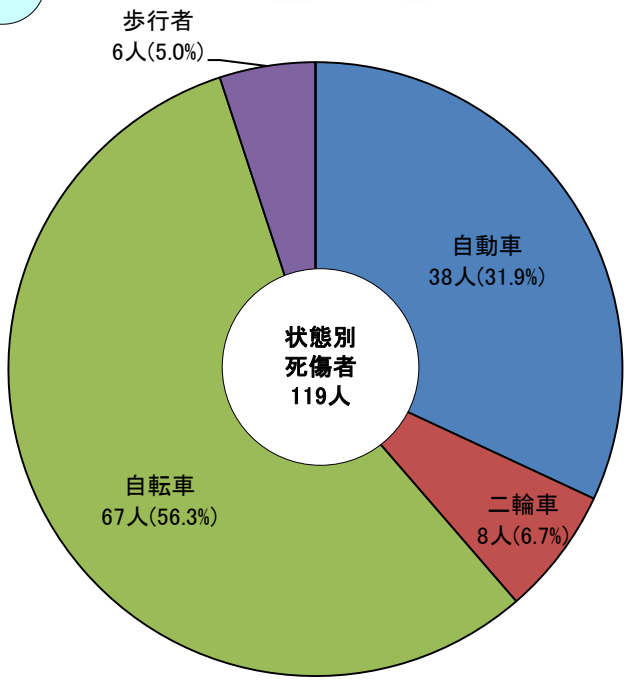
2 高校生の交通事故

自転車乗用中の死傷者が、約56%を占めている。

車両等の事故原因別では、安全不確認や動静不注視が目立っている。

●自転車乗用中の携帯電話・スマートフォン等の使用はやめましょう。
●道路を横断する際、交差点を通行する際には確実な安全確認をしましょう。





※高校生同士の事故、1件重複計上

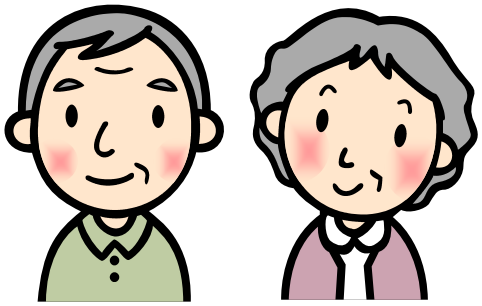
※車両等のうち原付以上による事故は16件、自転車による事故は65件

※死者の内訳は、二輪車乗車中1人

区　　分		平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
人身事故(件)		278	261	255	244	211	168	141	144	133	86
	死 者 数	2	1	2	2	1	0	0	1	2	1
	負傷者数	369	341	350	313	270	227	210	173	169	118
死 傷 者 率		2.5	2.5	2.6	2.4	2.5	2.4	2.5	2.4	2.7	2.5

3 高齢者の交通事故

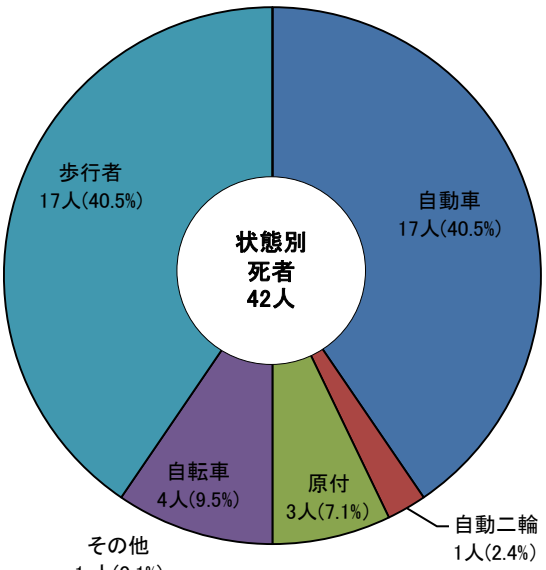
（年齢65歳以上の人が関与した事故）

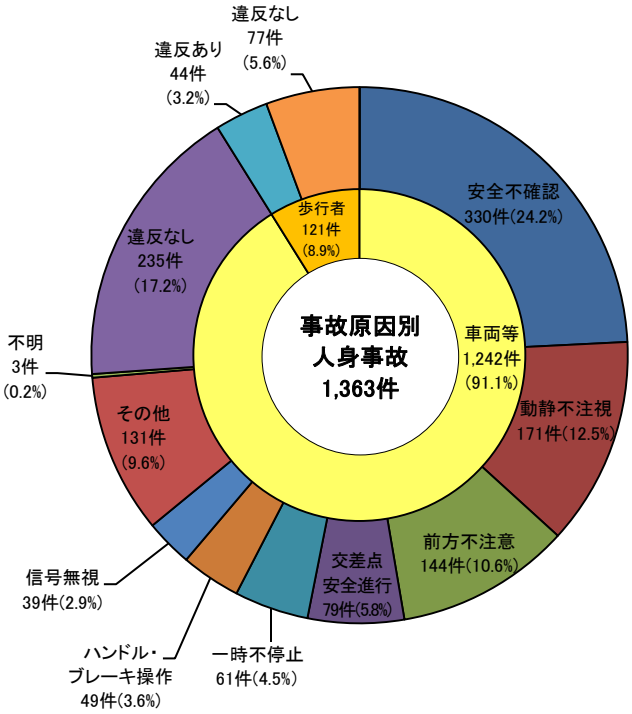


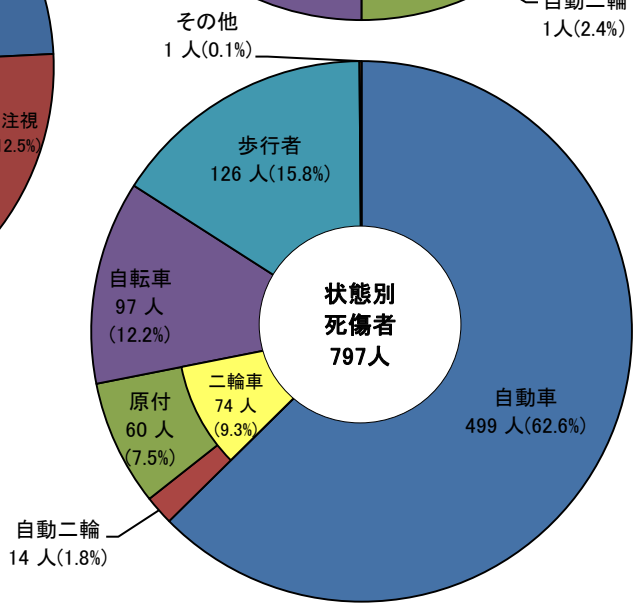
（1）全体

状態別死者では、歩行者・自転車乗用中が50%を占めている。

●体調、天候などは日々、変化するものです。自身の身体機能に合わせ、その時々の状況に応じた慎重な交通行動をとりましょう。







※高齢者同士の事故159件を重複計上

※車両等のうち原付以上による事故は1,145件、自転車による事故は97件

区　分	平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
人身事故（件）	2,867	2,633	2,731	2,767	2,330	2,151	1,843	1,638	1,509	1,204
死 者 数	71	53	48	49	57	52	52	37	57	42
負傷者数	2,126	1,862	1,922	1,892	1,647	1,448	1,224	999	959	755
死 傷 者 率	14.6	13.8	14.7	15.0	15.7	15.6	15.5	14.4	16.3	16.7

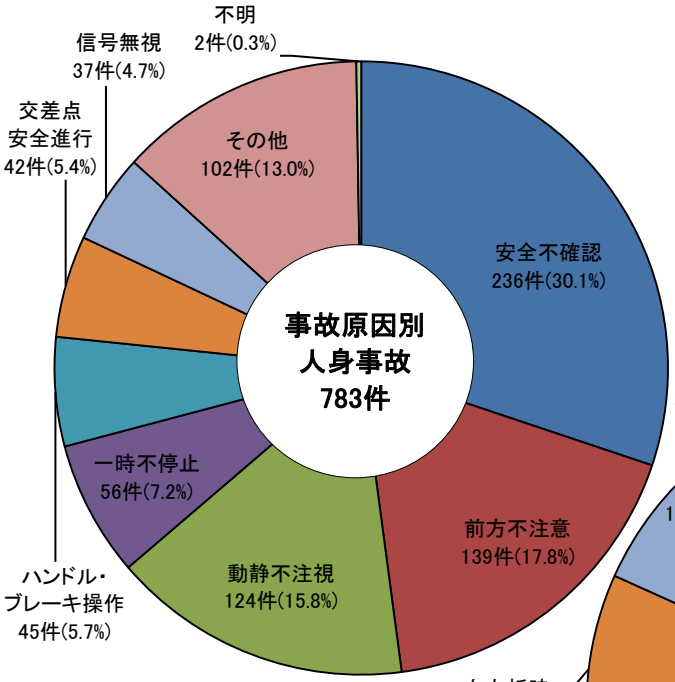
(2)高齢運転者

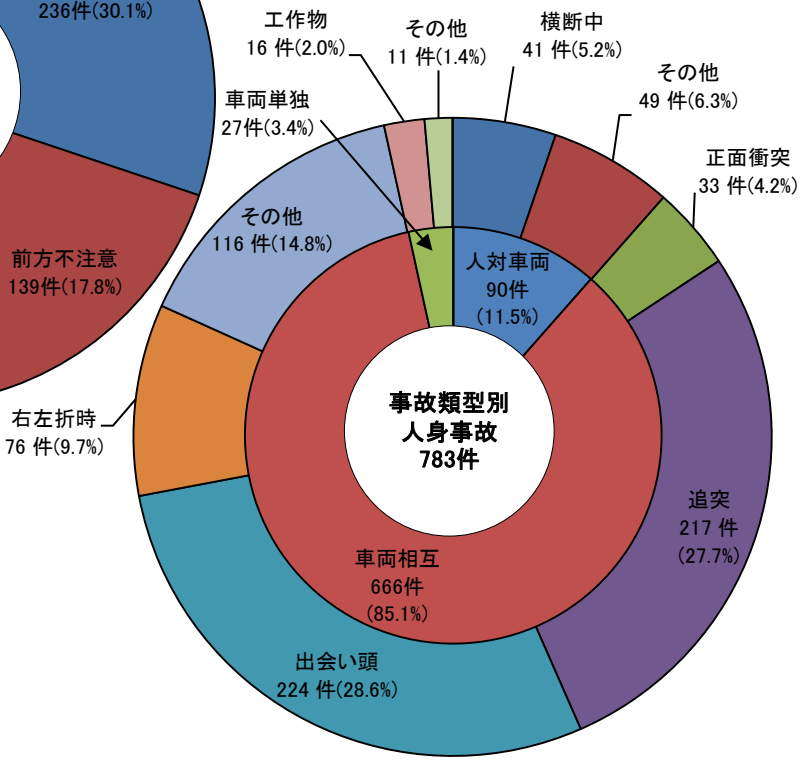
（年齢65歳以上で原付以上の運転者が第1当事者になった事故）

原付以上の運転者が第1当事者になった人身事故の約23%が、死亡事故の約43%が高齢運転者による事故です。

運転に不安を感じたら、免許証の自主返納も１つの方法です。

●運転中は、常に周囲の状況に注意を払い、安全運転を心掛けましょう。
●高齢運転者標識を付けた自動車への幅寄せや割り込みはやめましょう。





区　分	平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
人身事故(件)	1,673	1,618	1,642	1,702	1,416	1,331	1,136	1,041	968	783
構 成 率	15.5	16.1	16.9	18.1	18.3	19.4	19.8	20.1	21.5	22.5
うち死亡事故(件)	30	20	28	20	20	28	24	10	22	28
構 成 率	25.0	25.3	31.5	25.0	22.5	37.8	27.9	14.1	29.7	43.1

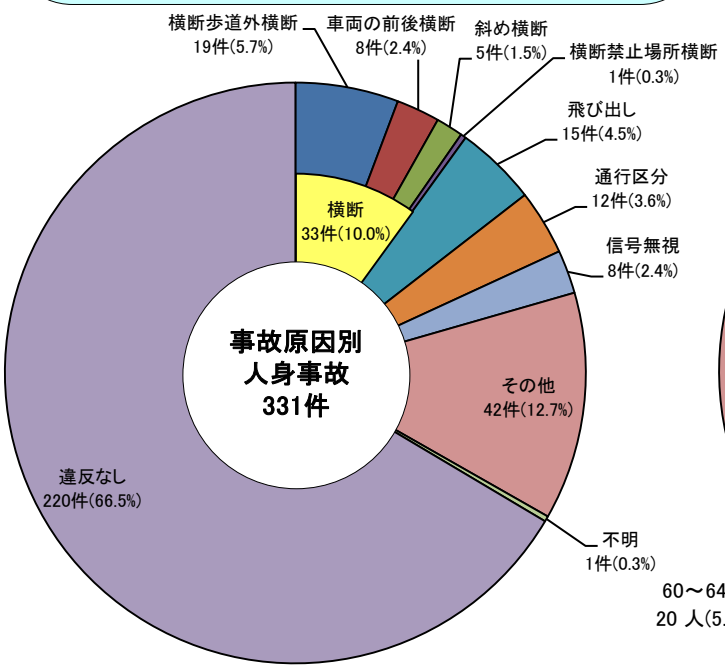
※構成率は、原付以上の運転者が第1当事者になった事故に占める高齢運転者による事故の割合

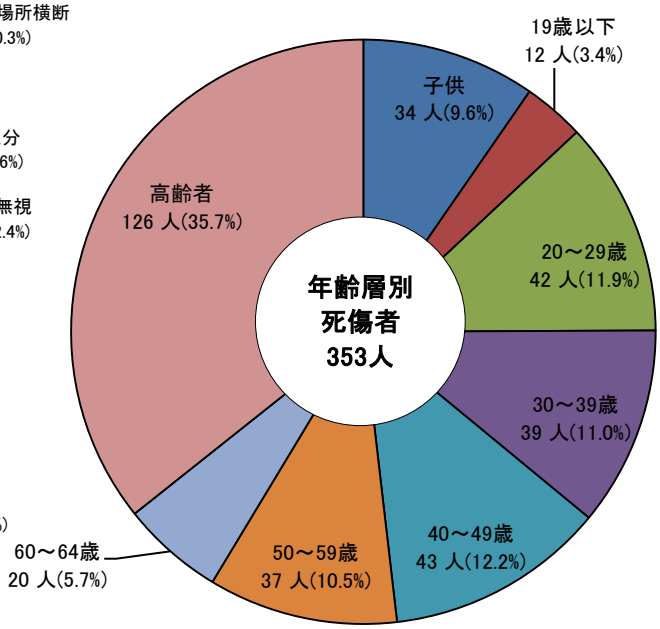
4 歩行者の交通事故

歩行者の約3割に何らかの違反があり、横断に関する違反が33件(10.0%)で最も多い。

年齢層別では、高齢者の死傷者が約36%を占めている。

- ●道路を横断するときは、横断歩道を利用しましょう。
- ●車のかげからの飛び出しは、危険ですから絶対にやめましょう。
- ●夕暮れ時や夜間に外出するときは、明るい服装で反射材用品等を身に着けましょう。





※死者24人の内訳は、30～39歳1人、50～59歳2人、60～64歳4人、高齢者17人である。

区　分	平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
人身事故(件)	729	677	665	731	592	552	479	486	398	331
死 者 数	37	28	31	33	36	28	37	26	25	24
負傷者数	719	693	660	733	578	549	467	490	382	329
死 傷 者 率	5.0	5.2	5.2	5.9	5.7	6.0	6.1	7.2	6.5	7.4

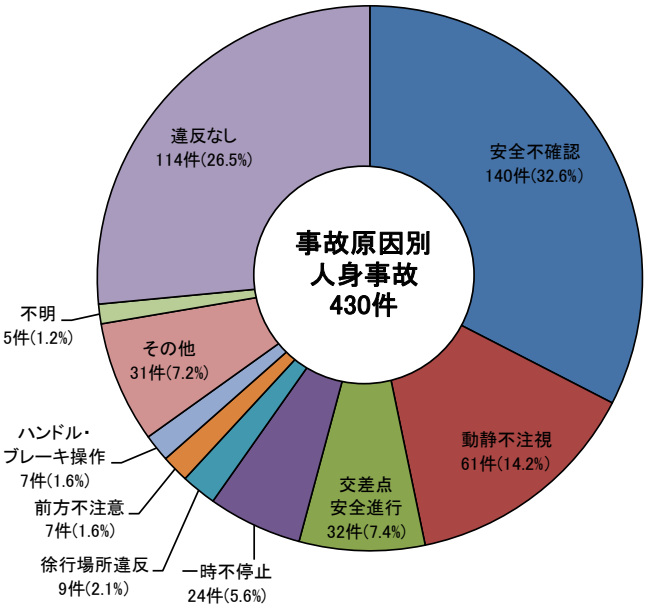
5 自転車の交通事故

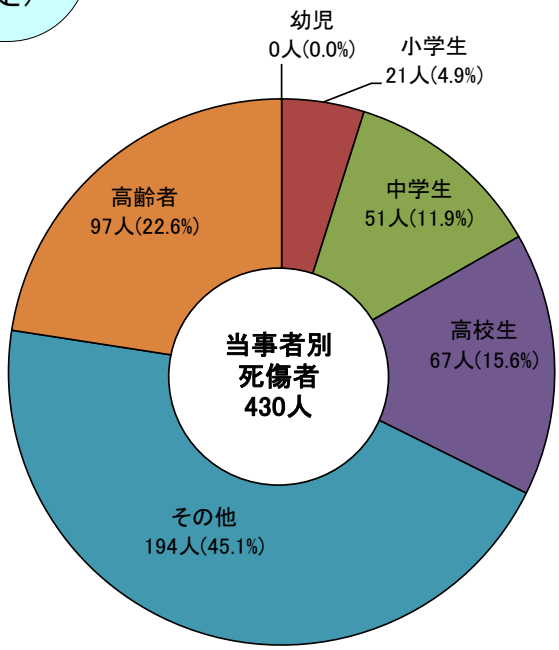
事故原因別では、安全不確認、動静不注視で全体の約47%を占めている。
年齢層別では、高校生以下の死傷者が約32%を占めている。

自転車安全利用五則

1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2 車道は左側を通行
3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4 安全ルールを守る
　○ 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
　○ 夜間はライトを点灯
　○ 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
5 子どもはヘルメットを着用

（平成19年7月10日交通対策本部決定）





※自転車同士の事故4件を重複計上

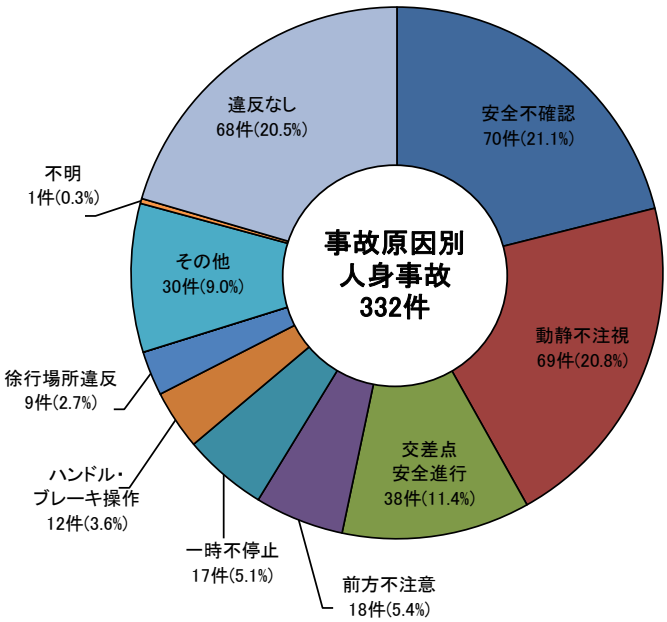
※ 死者6人の内訳は、小学生1人、その他1人、高齢者4人である。

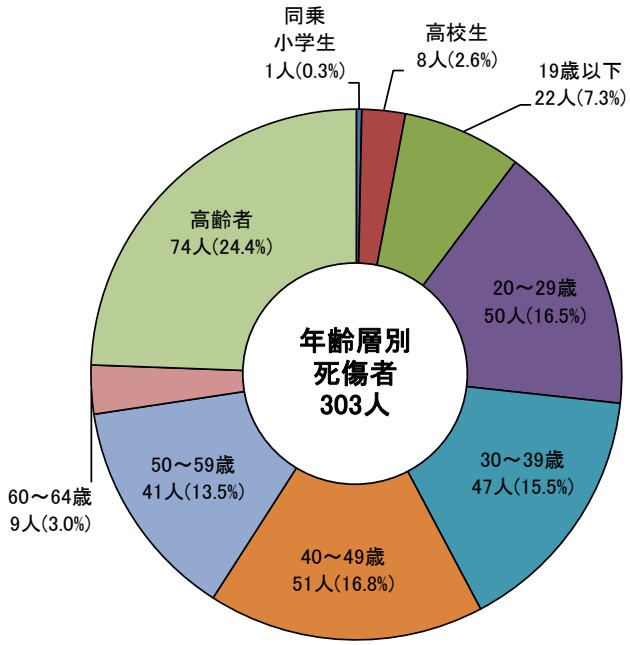
区分		平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
人身事故(件)		1,415	1,224	1,235	1,150	954	750	633	635	531	426
	死 者 数	16	17	8	8	18	12	12	15	14	6
	負傷者数	1,419	1,217	1,238	1,143	939	737	621	613	511	424
死傷者率		9.6	8.9	9.3	8.9	8.8	7.8	7.7	8.7	8.4	9.0

6 二輪車の交通事故

事故原因別では、安全不確認と動静不注視で全体の約42%を占めている。
年齢層別では、高齢者の死傷者が、約24%を占めている。

●一時停止の交通規制が実施されているところでは、必ず一時停止して、左右の安全を確認しましょう。
●二輪車を運転するときは、正しい乗車姿勢を保ち、ヘルメットを正しく着用するとともに、プロテクターを着用しましょう。





※ 二輪車同士の事故4件を重複計上
※ 無免許は5件

※ 死者16人の内訳は、高校生1人、19歳以下1人、20～29歳1人、30～39歳1人、40～49歳3人、50～59歳5人、高齢者4人である。

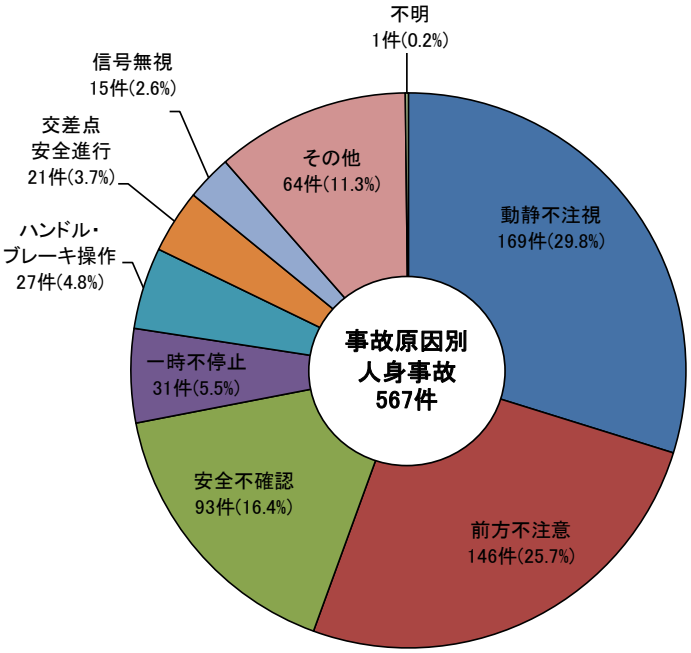
区分		平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
人身事故(件)		1,349	1,168	1,076	1,005	829	687	629	477	446	328
	死 者 数	17	14	22	14	20	15	17	10	13	16
	負傷者数	1,288	1,111	1,015	950	777	655	594	449	409	287
死傷者率		8.7	8.1	7.7	7.4	7.4	7.0	7.4	6.4	6.8	6.4

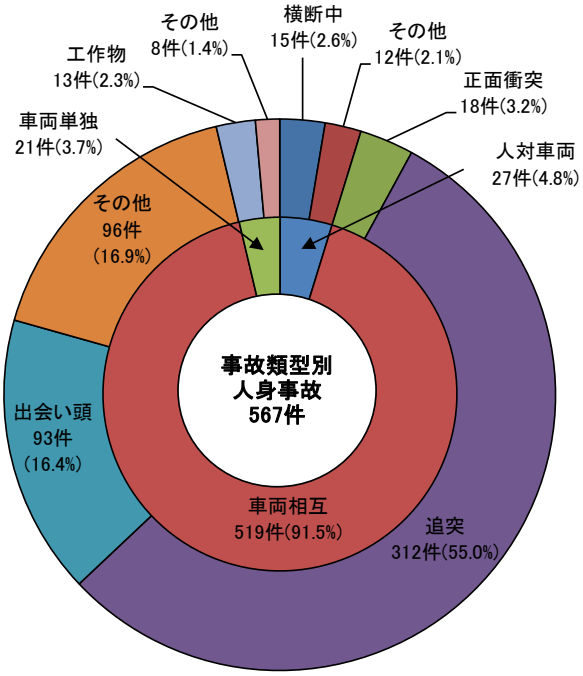
7 若年運転者の交通事故

（年齢16～24歳の原付以上の運転者が第1当事者となった事故）

人身事故の事故原因別では、動静不注視、前方不注意、安全不確認で全体の約72%を占め、事故類型別では、追突が約55%を占めている。

- ●速度が速いほど、停止距離が長く、衝突時の衝撃が大きくなります。安全な速度で運転しましょう。
- ●交通ルールを遵守して、常に周囲の状況に注意を払いましょう。





区分		平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
人身事故（件）		1,899	1,719	1,669	1,563	1,294	1,155	977	850	741	567
	構 成 率	17.6	17.2	17.2	16.7	16.7	16.9	17.0	16.4	16.5	16.3
うち死亡事故（件）		7	7	12	7	11	6	9	9	11	1
	構 成 率	5.8	8.9	13.5	8.8	12.4	8.1	10.5	12.7	14.9	1.5

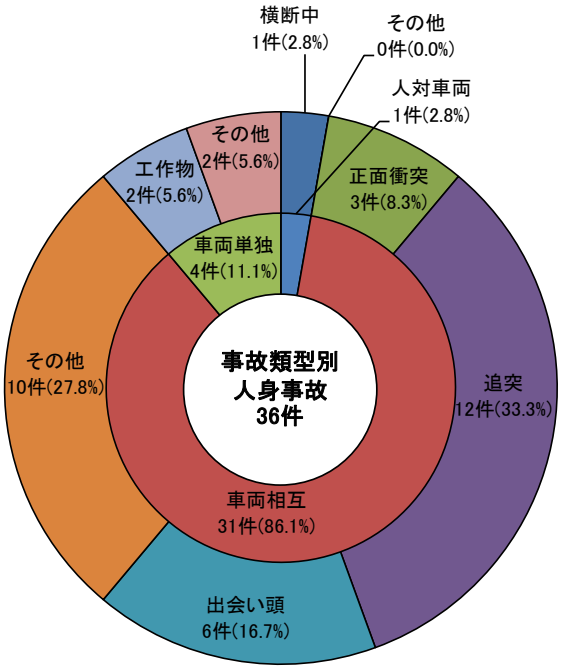
※構成率は、原付以上の運転者が第1当事者になった事故に占める若年運転者による事故の割合

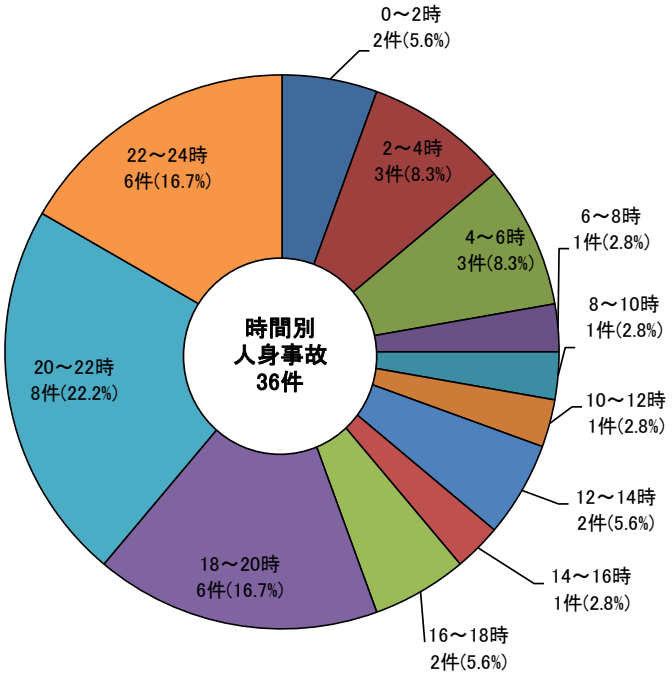
8 飲酒運転の交通事故

（原付以上の運転者が、飲酒運転をして第１当事者となった事故）

飲酒運転の人身事故は、事故類型別では追突が約33%を占め、時間別では20時～22時の発生が約22%で最も多いが、日中にも発生している。

●アルコールの影響で適切な判断や運転操作ができず、事故を引き起こす危険性が高くなります。
●一人一人が、飲酒運転は絶対に「しない」「させない」「許さない」ことを徹底し、飲酒運転を根絶しましょう。





※死亡事故の内訳は、車両相互1件、車両単独1件である。　※死亡事故は、12～14時に1件、20～22時に1件発生している。

区分		平成22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
人身事故（件）		91	66	73	63	55	44	36	34	42	36
	構 成 率	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.6	0.6	0.7	0.9	1.0
うち死亡事故（件）		6	6	4	3	9	1	1	5	3	2
	構 成 率	5.0	7.6	4.5	3.8	10.1	1.4	1.2	7.0	4.1	3.1

※構成率は、原付以上の運転者が第1当事者になった事故に占める飲酒運転者による事故の割合

■車両の事故原因

◇**信号無視** ・・・・・・・・・・・・・・・・信号機の設けられている交差点で、赤又は黄色信号等を無視して交差点に進入して事故を起こした場合等をいう。

◇**通行区分** ・・・・・・・・・・・・・・・・センターラインを超えて、対向車線に進入して対向車と正面衝突した場合等をいう。

◇**追い越し** ・・・・・・・・・・・・・・・・追い越し禁止場所や無理な追い越しをして、対向車等と衝突した場合をいう。

◇**最高速度** ・・・・・・・・・・・・・・・・法定（指定）速度を超えて走行したため、歩行者の発見が遅れて衝突したり、カーブ路を曲がれなかったために事故を起こした場合等をいう。

◇**歩行者妨害等** ・・・・・・・・・・・・横断歩道を横断中の歩行者や自転車横断帯を横断中の自転車の発見が遅れたために衝突した場合等をいう。

◇**一時不停止** ・・・・・・・・・・・・・・一時停止の標識・道路標示のある交差点で、一時停止することなく、交差点に進入したために交差道路から走行してきた車両と衝突した場合等をいう。

◇**酒酔い** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・飲酒により正常な運転ができない状態で、車両を運転したために事故を起こした場合をいう。

◇**右・左折** ・・・・・・・・・・・・・・・・右・左折禁止場所で右・左折をしたために事故を起こしたり、原付の二段階右折をしなかったために事故を起こした場合等をいう。

◇**優先通行妨害** ・・・・・・・・・・・・交差点で右折する時に直進車両と衝突したり、明らかに優先道路を走行している車両と衝突した場合等をいう。

◇**交差点安全進行** ・・・・・・・・・・交差点で、交差道路から走行してきた車両に特に注意しなかったために衝突したり、反対方向からの右折車両に特に注意しなかったために衝突した場合等をいう。

◇**徐行場所** ・・・・・・・・・・・・・・・・左右の見とおしの悪い交差点や急な道路の曲がりかど付近等で減速徐行しなかったために交差道路から走行してきた車両や対向車と衝突した場合等をいう。

◇**ハンドル・ブレーキ操作** ・・・ カーブ路等で急ハンドルを切ったためにガードレールに衝突したり、急ブレーキを踏んだためにスリップして前車に追突した場合等をいう。

◇**前方不注意** ・・・・・・・・・・・・・ 考え事やぼんやりしていたり、脇見をしていたために前を良く見ていなかったために停止した前車に気づくのが遅れ追突した場合をいう。

◇**動静不注視** ・・・・・・・・・・・・・ 相手（車両・歩行者）の動きを良く見ていなかったために、相手の動きに対応できずに衝突した場合等をいう。

◇**安全不確認** ・・・・・・・・・・・・・ 前方・左右・後方に対する安全確認を怠ったために衝突した場合等をいう。

◇**安全速度** ・・・・・・・・・・・・・・・・カーブ路等で道路状況・環境に応じた速度で走行しなかったために路外へ逸脱したり、飛び出した歩行者と衝突した場合等をいう。

■歩行者の事故原因

◇**飛び出し** ・・・・・・・・・・・・・・・・安全を確認しないで路上に飛び出したために、車両等と衝突した場合をいう。

◇**車両の前後横断** ・・・・・・・・・・駐車車両の直前・直後から横断したり、走行車両の直前・直後から横断したために車両等と衝突した場合をいう。

◇**横断歩道外横断** ・・・・・・・・・・横断歩道が付近にある場所で横断歩道を利用せずに横断したために車両等と衝突した場合をいう。

◇**横断禁止場所横断** ・・・・・・・・道路標識又は道路標示により横断が禁止されている道路で横断したために車両等と衝突した場合をいう。

◇**幼児のひとり歩き** ・・・・・・・・・・児童等（13歳未満）が保護者を伴わずに一人歩きをしていたために、車両等と衝突した場合をいう。

◇**めいてい・はいかい** ・・・・・・・・道路において、酒に酔ってふらついていたり、寝そべり等の交通妨害をしていたために車両等と衝突した場合をいう。

交通安全
年間スローガン
令和２年

※内閣総理大臣賞〈最優秀作〉を掲載

★運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの★

スマホより　横断歩道の　僕を見て

★歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの★

夕暮れの　一番星は　反射材

★中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの★

しっかりと　止まってかくにん　横だん歩道

思いやる　やさしい心で　走る三重

～　気持ち良い　運転マナーの　美(うま)し国　～